

繋 谷地南部っ子

令和6年度 学校便り
R 7. 2. 28
NO 26
校長 秋場 一憲

経営キーワード「一步踏み出す力（主体性）」「チーム力（協働・対話）」「考え抜く力（解決・創造）」

6年生が、4月から共に学ぶ仲間と楽しく交流！！

2月5日（水）に、本校のほか溝延小学校、西里小学校、谷地西部小学校、北谷地小学校の町内5つの小規模校の6年生が、本校体育館を会場に交流会を実施しました。担任はもとより、各校の6年生代表がオンラインでどんな内容で交流するかを話し合ってきました。

当日は、とても緊張した面持ちでスタート。楽しいゲームを重ねる度に、少しずつ笑顔と会話が増えていきました。他校の仲間から刺激を受け、本校の6年生にも大変貴重な経験となりました。別れの時には、「4月にまた会いましょう。」と再会を心待ちにしている姿が見られました。



だんだん打ち解けて笑顔が・・・



言葉を交わさず誕生日等を交流



しっぽ取りゲームのチームで

平時から準備と備えをしておくことの大切さを学ぶ

～ 5・6年「防災教室」を実施 ～

東日本大震災の教訓を生かしながら、頻発する豪雨等の非常災害に迅速かつ適切に対応していくことが学校にも求められています。そのような中、2月4日（火）に町防災危機管理課から真田 防災専門員を講師としてお招きし、5・6年対象に防災教育を実施。河北町や山形県内で発生した直近の非常災害を例に、下記内容で講話をいただき、大切なポイントをたくさんご指導いただきました。

【講話骨子】

- ①災害が起きてからではなく
予め準備し備えておく。
- ②日常の避難訓練で「考えながら」避難して欲しい。
- ③災害発生時、自分の命を自分で守る。
- ④家の中の安全対策を家族で確認しておく。



資料を使ってご講話



簡易避難スペース組み立て

特別支援学級の子供たちへ素敵なプレゼント

日本教育公務員弘済会の大きな事

業の一つに、特別支援学級在籍児童への図書贈呈があります。

数ある学校の中から今年度本校が贈呈対象校に選ばれ、2月5日（水）に本校で贈呈式が行われました。前もって子供たち自身が選んでいた図書を一人一人手渡され、子供たちは笑顔満点。早速、各教室で夢中になって読んでいます。弘済会山形支部の細梅 専務幹事からは、「図書に親しむことで、将来の夢の実現にも繋がる。」と、大切なお話をいただきました。本当にありがとうございます。

ワクワクの贈呈の瞬間



「本を読むことが好きな人は？」の問いに、全員挙手



1年間の感謝の気持ちを伝える ～ 交通指導員さん等への感謝の会(2/20) ～

「自分の命は自分で守る」が基本ですが、今年度1年間、毎朝交通指導員さんや各地区の方々からの温かい見守りと安全指導のお陰で、大きな事故や怪我無く学校生活を送ることができました。本当にありがとうございます。今回の感謝の会よりも、毎朝の挨拶や感謝の言葉が大切であることを子供たちと再確認しました。



交通指導員代表の方からのご挨拶



代表児童による感謝の言葉

第2回南部地区青少年育成町民会議評議員会を開催

今年度2回目となる南部地区青少年育成町民会議評議員会を、2月19日（水）に開催しました。情報交換では、主に下記の点が話題になりました。

- 子供たちが男女、学年関係なく、仲良く交流していることがわかる。
 - 本会議の趣旨がとても良く、地域に支えられていることに感謝したい。
 - 冬期間の安全点検実施も検討し、各地区でも通学路の除雪状況等を話題にしていきたい。
 - 通学班編成（人数）について、検討してもよいと思う。
 - さくら連絡網の送信タイミング並びに各種お便りのペーパーレス化を検討していく。
- 1年間の事業推進とご協力に感謝申し上げます。

活発な情報交換

